

レベッカ

Rebecca

観賞日 2020・8・24

【概要】

制 作 1940 年 米

上映時間 130 分

監 督 アルフレッド・ヒッチコック

撮 影 ジョージ・バーンズ

音 楽 フランツ・ワックスマン

出 演 ジョーン・フォンテイン (わたし)

ローレンス・オリヴィエ (マキシム・ド・ウィンター)

ジュディス・アンダーソン (ダンバース夫人)

ジョージ・サンダース (ジャック・ファヴェル)



【あらすじ】

南フランス、モンテカルロ。私は自殺しようとしている男を見かけ止めに入る。ホテルに戻るとその男がいて翌朝食事を共にする。男の名はマキシム・ド・ウィンター。イギリスの最西南端マンダレーに住む貴族。何回かデートを重ね、マキシムは私にプロポーズした。マキシムの屋敷。広大な邸宅と多数の使用人。仕切っているのはダンバース夫人。ダンバース夫人は亡くなった前夫人レベッカと一緒にこの屋敷に来たという。貴族の生活になれない私は不安だらけ。会う人、皆から聞くレベッカの噂、Rの文字、私は次第にレベッカの影に怯えるようになる。ある晩、レベッカの死体が発見される。マキシムは私にレベッカとの結婚生活の実態、死の真相を語って聞かす。それは、私を怯えさせていたレベッカとは正反対のものであった。警察の尋問が行われる日。レベッカの死が自殺なのか他殺なのかを巡る、マックスとレベッカの従兄弟ファヴェルとの対決。カギとなるレベッカの主治医の証言は？レベッカを崇拝していたダンバース夫人がレベッカの死の真相を知り、採った行動は？

イギリスの女流作家、ダフニ・デュ・モーリエの同名小説の映画化。アメリカに招かれたヒッチコックがハリウッドで撮った最初の作品。

【解説】

■ポイント

●ヒッチコックの渡米第1作

ヒッチコックは1899年ロンドン生まれ。1925年から1939年まで祖国イギリスで映画を撮っていたが、ハリウッドの大物プロデューサーであるデヴィッド・O・セルズニックの呼びかけで渡米、第1作が本作であった。

●ジョーン・フォンテイン (1917年～2013年)

- ・東京港区生まれ。父親は日本で英語とサッカーを教えた。姉は女優のオリヴィア・デ・ハヴィランドで二人の確執は有名。
- ・1935年映画デビュー。1940年の本作が出世作。
- ・代表作：「断崖」(1941年)でオスカー女優、「永遠の処女」(1943年)



●受賞 (1940年・第13回アカデミー賞)

11部門にノミネートされ2部門で受賞

作品賞、撮影賞 (白黒部門)

■見どころ

- 慣れない貴族の館でレベッカの影に怯える私とマキシムから真相を聴きマキシムを励ます強く逞しくなった私。